広報かじき

No.298
昭和54年 11月号

発行／加治木町
編集／務務課
印刷／(有)吉屋印刷

次代を担う青少年に夢と希望を！

青少年の健全な育成は、大人に課せられた重要な役割です。
ここ、みろく子ども会では、明るい社会づくりをと史跡「後藤塚」の清掃活動に汗を流しました。

◆人口22,319(＋24) 男10,665(＋7) 女11,654(＋17) 世帯数 7,235(－2) 54.10.1 現在( )前月比

迫地区ほ場整備請負契約や
昭和五十三年度決算を認定

＝九月定例町議会＝

昭和五十四年第三回定例町議会は、九月二十九日から十月二十四日までの二十六日間の会期で開かれ、昭和五十三年度一般会計、国保、水道特別会計決算認定を始め迫地区ほ場整備請負契約や、教育委員会委員の任命等合わせて十四件の議案が審議されました。

陳情については、七件が上程され六件が採択、一件が継続審査となり、請願一件については不採択となりました。

一般会計 一億三千九百五十六万円を追加

今回の一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ一億三千九百五十六万円を追加して、予算総額は三十億五千三百七十七万四千円となりました。

歳出のおもなものは次のとおりです。

老人居室整備資金貸付金四百万円、西部衛生処理組合負担金三千二百四十八万円、活動火山周辺地域防災営農対策事業費四百二十六万五千円、林道高井田線舗装工事等三千三百万円、道路新設改良費（西別府線、竜門司坂線、家屋移転等）二千七百五十一万七千円、道路舗装費四百万円、都市計画事業費一千百七十万八千円、公園整備費七百万円、横手排水路九百十万円、等です。

主な議案

教育委員会委員に
大井千尋氏を任命

町教育委員会委員岩崎昭夫氏の任期満了に伴い、本町の大井千尋氏(五三)を任命することに同意しました。

五十三年度一般会計
特別会計決算を認定

昭和五十三年度一般会計、国民健康保険特別会計、水道事業会計及び簡易水道特別会計の決算が、それぞれ原案どおり認定されました。

ほ場整備される迫部落の段々田んぼ

迫地区ほ場整備
請負契約を締結

地域農政特別対策事業迫地区ほ場整備工事請負契約は、指名競争入札の方法で行われ、三千百六十万円で町内の大英建設株式会社と契約を結ぶことに可決されました。

陳情・請願

▽町道編入について「須崎」（採択）
▽日木山地区バス停留所新設について（採択）
▽町道編入について「岩原」（採択）
▽岩原部落の排水溝設置について（採択）
▽米消費拡大施策確立について（採択）
▽電気、管工、水道施設、空調設備工事の分離発注と地元優先指名について（採択）
▽農用地指定反対に対する陳情は継続審査となりました。
▽無認可保育園（ひまわり保育園）への助成に関する請願については不採択となりました。

たばこは町内のお店で買いましょう!!

水田ほ場整備始まる

小山田迫地区

小山田の迫部落では、農業の生産主体である水田を農用地に偏入し、地域農政整備事業（A型）で区画整備をするほ場整備事業が始まりました。

昭和五十二年度からぬくもりに満ちた農村社会づくりを目ざして農村振興運動の話し合い活動が各部落で実施されてきていますが、この迫部落は、農業の生産主体である水田が昔のままの段々田んぼでは最近の農業機械の利用も困難で、老令、婦女子化の労働力、水田再編の転作など今日の農政に対応することがきわめてむずかしいことから区画整理をしようと全員が同意したものです。

区画整理は、四・六ヘクタールを一枚十アールで農道、農道橋、用排水路を地域農政整備事業で実施します。

加治木町としては、水田ほ場整備ははじめての事業であり、立派な整備が出きることを関係者一同のぞんでおります。

このほかに、市来原部落では集会施設の新築や、辺川、市野地区では水田の用水不足に対し、揚水機施設を新設することになっています。

待望の簡易水道が開始

辺川と西別府の一部

竹山の水源地

上場西地区簡易水道工事がこのほど完成し、この竣工式が十月三十一日町福祉センターで行われました。

この簡易水道は五十三年度からの継続事業で、十一月一日から正式給水が開始されました。

水源池は溝辺町竹山部落で、一日の給水量は三四六㌧、給水区域は辺川全域と西別府の永原、曲田、隈原上・下、丸岡、提水流、市野々部落で計画給水人口は九百人、総事業費は一億八千二十六万六千円。配管総延長一万八千八百五十六㍍で、主な施設は、取水タンク施設、第一配水施設（一二〇㌧）第二配水施設（一六一㌧）高架水槽（一七㌧）送水管、導水管、配水管の布設のほか浄水施設、電気施設、消火栓二十個所が建設されました。

なお、この事業費の一部は国民年金の積立金還元融資によってできたものです。

永原地域は永年水源確保の問題で大きな悩みがありましたが、この完成に伴い地域住民は、水量不足の不安もなくなり、保健衛生上からも充分な飲料水が使用できると大変よろこばれています。

国保シリース④

老人医療は本当に無料？

①〈お年寄りの医療費の大部分は国保の負担です〉

おじいちゃん、おばあちゃん、病気になったら安心してお医者さんでなおしてください。お年寄りはお金を窓口で支払わなくてもお医者さんにかかれます。その医療費の大部分は、みんなが国保税を出しあっている国保で支払っているのです。

②〈お年寄りの医療費は増え続けています〉

お年寄りの医療費はとても大きな額にのぼっています。昭和五十三年度のお年寄りの医療費は一人当たり平均で年間約二十四万五千円ですが、これはお年寄り以外の人の四倍にあたり、国保全体の費用のほぼ四十パーセントが、お年寄りの医療費ということになります。お年寄りの人口はわが国ではこれからますます増えていく見込みです。それに応じて増え続ける医療費をどうやって保険でまかなっていくかが、将来にかけての大きな課題となっています。

○老人の健康支えるみんなの国保

○みんなで守るお年寄りの健康

文化財めぐり 40 鳳山和尚墓

反土・札立

鳳山和尚は、山川生まれで、明釣といって、文禄元年朝鮮役に陣僧として従軍し、功績があったので、帰国後禄高三十石を与えられ椿窓寺の中興の開山となった。明釣は帰国の折、手洗鉢と石臼と白藤を持ち帰ったことは、手洗鉢と石臼のところで述べたとおりである（広報かじき二八〇号に掲載）

晩年は黒川の地に鳳山軒を建て隠棲したが歿後安永四年に椿窓寺十八代大厳和尚が竜門司坂の西方高倉山の景色のよいところに建物を移したといわれ、天明五年に建てられた石碑がただいま町立図書館の玄関側に移されている。

竜門の会

山の温泉の桶並べ干す秋桜　徳留　末雄

芒野に遠きいくさの匂ひあり　横山　江南

夕暮の光はなれず紫苑立つ　鶴田　耕

杉山の枝打つこだま秋の空　宮脇　思川

大嵐それてすがしや花茗荷　井之上透山

朝霧の晴れて艶めく樹々の肌　上野　光

十五夜の綱に孕み女手を触れて　田代　俊泉

流れ入る冷たき霧や山の宿　加藤　白柳

素手素足孫と甘藷掘り日の暮るる　恒吉　斗南

木犀のどこからともなく朝の風　高木　正男

県畜産共進会で 最優秀賞

第二十八回県畜産共進会が、十月七日から九日までの三日間、隼人町の郡中央家畜市場で開催され本町から出品した牛、豚共に上位入賞の成績をおさめました。

この日は、県内の各郡から選ばれた牛八十三頭、豚七十七頭、計百六十頭が出品され、体型や資質など入念に審査が行われました。

出品者は、タタミや生活用品をそれぞれ持ち込み、牛、豚とともに寝おきし、審査に望みました。

審査の結果「資質、体型ともに良くなっており、特に中軀、後軀の形が改良された」と講評がありました。

成績は次のとおりでした。

肉用牛（三歳・雌牛）

優秀賞＝楠元正男　桃木野

種豚（バークシャー）

最優秀賞＝末吉キミ子　毛上

末吉キミ子さんの豚と楠元正男さんの牛

町農業祭

◇11月25日（日）◇

農村に住むすべての方々の自主的意欲の向上と、町民の方々が農業に対する理解を深めるための第一回「農業祭」が開催されます。

これは、町内の農業関係機関団体等の協力で豊かでぬくもりに満ちた農村社会をつくる目的で催されます。

とき　昭和五十四年十一月二十五日（日）　10時～15時

ところ　加治木中学校

内容　農林畜産物品評会、資料展示、農業機械、緑化樹など展示即売、生活改善の資料展示、演芸大会等

県下の最低賃金

1日2,372円・1時間297円

10月25日から改定され県内の労働者に対しては，これより低い賃金は，支払うことはできません。

義弘公奉賛 武道大会

十一月二十三日（祭）

剣道大会は加治木高校弓道大会は精矛神社

税の納期

今月は国保税第四期の納期です。

心配ごと相談

毎週木曜日の午前中町福祉センターで相談を受けています。お気軽に！

ゴミ収集所は、いつもきれいにいたしましょう。

母と子の会話

学習意欲

毎日の生活体験を通して

どうすれば、子供が自分から進んで勉強するようになるか、お母さん方にとっては悩みのタネでしょう。

知識や技術などは、教えることによって、ある程度は身につけさせることができますが、勉強する、しないの問題は意欲、つまりやる気、にかかわることですから行儀作法をしつけるようにはいきません。

「やる気」は、本人の心の中に燃え上がる欲求です。お母さんが口ぐせのように「さあ勉強！勉強！」「ホレホレ……」「サッサと……」などと言い続けても、子供は本気で勉強に打ち込むようになるとは限りません。

要は、どのようにして子供に「やる気」を起こさせるか、どうしたら学習意欲を燃やしてくれるか――ということです。

そこで、心得ておかなければならないのは、勉強に対する「やる気」は、必ずしも勉強することによってのみ養われるものではないということです。勉強も含めた幅広い日常生活の体験の中から芽生えることが多いのです。

勉強に適した性格といってもいろいろには言えませんが、少なくとも、物事を「きちんとする」「すすんでする」「根気よくする」といった特性をあげることができます。

この「きちんと・すすんで・根気よく」物事をする性格は、毎日の勉強から身につくというより、むしろ日常生活の中で習慣化され、形成されていくことが多いといえましょう。

お母さんのお手伝い、遊び、友だちとの交流などを通して、ふだんから「きちんと・すすんで・根気よく」やりとげる習慣を身につけさせ、物事をやりとげた感動を味わわせることが大切です。こうした体験が、勉強する意欲に結びつくのです。

勉強以外のことには無関心で勉強のときだけ口やかましくハッパをかけるのは、効果的ではないようです。

話題

優良団体として
文部大臣表彰

木田岩原のあすなろ会（田上宣昭会長・二十六人）は、社会体育活動等実績が高く評価され、十月五日、東京で行われた全国表彰式で社会体育優良団体として文部大臣表彰を受けました。

当会は昭和四十四年三月に岩原地区ソフトボール同好会で結成、以来会員の親睦と体力づくりのほか、地区民の参加するソフトボール大会やゲートボール、フットベースボール大会、それに運動会や敬老会等にも協力して地域住民に喜ばれています。

こうした活動が認められ、表彰されたものです。

文部大臣表彰を手にあすなろ会

踊りや歌で慰問
加治木ロータリークラブ

加治木ロータリークラブ（大井千尋会長会員四十五人）では、十月十二日、特別養護老人ホーム加治木望岳園の入園者（百十人）を慰問しました。

ロータリークラブの主旨は、世界の人々の友情と社会奉仕団体の集いで、この日も午後二時から日舞「花街人形」や吟詠等十二種目と、飛び入りとしてカラオケ等を披露。入園者の方々を励ましました。思わぬプレゼントに、入園者はさかんに拍手を送り、大喜びしていました。

また、当クラブは天神公園にもさる十月十六日、ちりかご六個とベンチ二個を寄贈しました。

きれいな街づくりのために有効に活用しましょう。

町営運動場を清掃
コカ・コーラの従業員

十月十日は、町民体育祭で町営運動場は大にぎわいしましたが、この運動場をきれいにしようと、九月二十八日と二十九日の二日間コカ・コーラの従業員（嶽本博幸代表十三人）が雑草の草刈等奉仕作業に汗を流しました。

同従業員らは、ダンプ一台に草刈機五台、それにナイロン袋等を持ち込み、自発的に約四万三千平方メートルのグラウンド脇に生い茂ったヤブ払いや雑草を刈り取りました。刈り取った後はダンプカーで運び、グラウンドは、見違えるようにきれいになり関係者を喜ばせました。

また、十一月には同コカ・コーラ主催で、町内チビッコソフトボール大会も計画されております。

ありがとうございました。

奉仕作業に励むコーラの職員

須崎海岸に
稚貝を放流

錦海漁協（春山鉄翁組合長）では、今年もまた十月十一日、須崎海岸と重富の山野海岸にアサリの稚貝五、八トンを放流しました。

放流された稚貝は生後六・七か月の約一センチ大で、福岡県大和町の七ツ江漁協から購入したものです。この日は朝九時から組合員三十人が七隻のボートに分乗、ザルを片手に須崎海岸と山野海岸に次々と放流しました。

両海岸は、来年三月に潮干狩り解禁となりますが、例年、姶良郡内だけでなく他の地域からも多勢の人々が訪れ、たいへんにぎわっています。

今年は残念ながら貝が油くさく、潮干狩は中止となりましたが、来年はみなさんに楽しんでもらおうと、同漁協では貝の成長を祈るとともに、解禁の日を楽しみにしています。

豊貝を祈り放流

花木二〇〇本贈られる
九電から加治木町へ

九州電力では、十月十五日から二十一日までの一週間は「地域対話強調週間」として九州各地でいろいろな行事が実施されましたが、この週間中の十月十六日、九州電力加治木営業所（樋渡卓朗所長）では、花の苗木二〇〇本を地元、加治木町に寄贈しました。

これは地域住民の皆さんと信頼のきずなを深め、住みよい快適な地域社会づくりをしようとサツキ一〇〇本、アベリアの苗木一〇〇本が贈られたものです。

当町では、この苗木を町内の各小学校に配り、地域美化活動に役立ててもらうことにしました。

婦人会だより

十一月もなかばを過ぎますと、いよいよ冬将軍の到来です。障子の張り替えなど冬支度はもうおすみですか？……手順よく仕事をかたづけましょう。

「家庭の日」どう過ごしていますか

先に県婦連が「家庭の日」一万人アンケートを実施しました。その結果によりますと、「家庭の日」は約九〇パーセントの人が知っているが、その半分の家庭では、特別何もやっていないということ、それでも今後「家庭の日」は大事だから続けた方がよいという意見が七〇パーセントもありました。

鹿児島県から始まった家庭の日の運動は全国的に広がっています。

私たちはこのあたりでもう一度「家庭の日」をみなおし、家庭で地域でそのとりくみ方を考えてみましょう。

まあるくなった　輪になった
つないだ手と手がひとまわり
みんなの笑顔がつたわって
楽しく輪になった。けんかをしたって　親なら子なら
そっぽを向いたらおかしいよ

と「家庭の日」のうたを思い出し町のあちこちから聞えてくるようにしたいものです。

ありがとうみなさん　わたしたちのシール号がお目見え

結核予防会鹿児島県支部で結核検診車シール号を発注していましたが、このほど完成し結核検診に偉力を発揮する事になりました。

この検診車は、私たち結核予防婦人会が、毎年続けてきたシール募金を資金として購入されたもので、昭和四十九年度から昭和五十三年度までの五年分のシール募金の益金が資金として役立てられました。

私たちの手で造った検診車が県下一円を走り検診活動の第一線で活躍する事でしょう。

シール募金は今年も八月から十二月まで実施されております。今後ともご協力ください。

結核検診車シール号

「歌う楽しさ」加治木婦人大学コーラス部

「歌う楽しさ」の輪の中で
いつまでも若々しいお母さん達。

町の社会教育の一翼として、昭和四十年発足以来十四年、歌うことの喜び、素晴らしさは、しらずしらずの間に友情の輪を広げ、現在会員も六十一名に膨れ上っております。

今年は指導の羽生先生の提案で服にネームをつけ、まず親睦をかねた野外コーラスでスタートいたしました。また七、八日は県の合唱祭参加のための練習を重ね、去る九月十二日県文化センターでその成果を披露しました。歌う楽しさ、素晴らしさは自然に会場を潤し、観客席から手拍子がかえって来た時には感激で胸がいっぱいになりました。

これからも、秋の野外練習を初め盛りたくさんの年中行事をひかえております。　幅広い年齢層をこえ、いつまでも若々しく明るくそして良き指導者のもとで、月二回の練習日を待ち遠しく思っている意気のあったお母さん達の集まりです。

町婦人会県福祉大会で表彰

さる十月二十五日、県社会福祉大会で、長年にわたるボランティア活動に対し、大会会長県知事から感謝状をいただきました。

会員の皆様が、南九州病院への奉仕、おむつ一枚運動等に積極的に参加してくださる事への感謝です。みなさんと一緒にありがたくお受けすると共に、今後、一層婦人会活動の一つの柱である地域づくりに力を入れて行きたいと思います。

励ましの手紙と金一封が同封

婦人会活動が、いろいろと苦悩している時、先輩の方からと思われますお手紙が届きました。すばらしい達筆で書かれた文面から、婦人会の事をいつも気にかけていただいている姿に感激いたしました。そしてまた、何かに役立ててと金子まで同封されております。住所もお名前も書いてございませんのでお礼の申しようがなくこの紙面をかりる事にしました。ほんとうにありがとうございました。

いただきました金子はみんなとよく相談し、役立てたいと思います。

記事もれのお詫び

十月号広報かじき八ページでお知らせいたしました金婚者向江町の下楠薗豊栄・トメ夫婦がぬけていましたのでお詫びしてお知らせします。

第31回町民体育祭

城北地区が大健闘

体育祭優勝や総合優勝に輝く城北地区のみなさん

絶好のスポーツ日和りに恵まれた第三十一回町民体育祭は、本年も「スポーツの日」の十月十日、町内九地区から集った幼児からお年寄りまで、約三千人が参加して町営運動場で盛大に開催されました。

競技は九地区対抗で熱戦が展開されましたが、ことしは城北地区が大活躍し、本体育祭優勝と、年間社会体育総合優勝それに躍進賞まで、昨年の錦江第三地区に続いて文字どおり三冠王の輝かしい成績を飾りました。

大会は午前九時、青く澄みきったさわやかな秋空のもと、加中陸上部による大会旗を先頭に、役員団、各地区の選手団につづき、各体育専門部が入場、開会式では、昨年優勝した錦江第三地区から優勝旗の返還のちと、選手を代表して中尾匡秀君（錦江第一）が力強く選手宣誓を行いました。町内の保育園児と幼稚園児の遊戯で競技が開催され、二十四種目（地区対抗種目十二）の多彩なプログラムに熱戦が繰り広げられました。中でも十六回の模範演技では、県大会、九州大会で活躍した中学・高校生の演技披露があり観衆の拍手を受けました。

こうして第三十一回町民体育祭は、選手も応援者も一つになり盛大のうちに終了しました。

▽体育祭の成績は次のとおりです。（○内は前年度の成績）

優勝　城　北地区　一七八点④
二位　錦江一地区　一七六点③
三位　永　原地区　一七三点②
四位　城　西地区　一四三点⑧
五位　錦江三地区　一三九点①
六位　城　東地区　一三四点⑦
七位　錦江二地区　一二八点⑨
八位　城　南地区　一二四点⑥
九位　竜　門地区　一〇三点⑤

▽ジャンケンポン大会
一位　井上スミ子（岩原東）
二位　下楠薗　勲（楠　園）

九州・全国大会で大活躍

榎谷輪子さん（永中）ら三人

ガンバレ輪子さん

さる八月、北九州市で行われた九州中学校陸上競技大会に、県代表として出場した本町の榎谷輪子さん（永原中三年）ら三人は、砲丸投に優勝するなど立派な成績をおさめました。

また、砲丸投げに優勝した榎谷さん（榎谷博務さんの長女）は、全国大会にも出場し健闘しましたが、来る十一月に東京で開催されるジュニアオリンピックにも出場が決まり、今は特訓に励んでおります。

永原中学校はこの活躍に対し、校長先生をはじめ校区民あげて声援をおくっています。

活躍を期待いたします。

九州大会で健闘した選手は次のとおりです。

砲丸投げ女子　優勝　榎谷輪子（永原中三年）一二、二二㍍
一〇〇㍍女子　予選失格　大宮路早実（永原中三年）一三、四秒
四〇〇㍍男子　六位　中尾匡秀（加治木中三年）五三・四秒

五十三年度　社会体育年間総合成績

昭和五十三年度町民体育祭を最後に、これまで行われた各種社会体育の総合成績は次のとおりです。

（○内は前年度の成績）

一位　城北　地区　六五点⑥
二位　永原　地区　六一点②
三位　城西　地区　五九点④
四位　城南　地区　五一点⑨
五位　錦江一地区　三九点③
六位　竜門　地区　三八点⑤
七位　錦江二地区　三七点⑧
八位　城東　地区　三〇点⑦
九位　錦江三地区　二八点①

▽年間総合躍進賞
城北　地区　二五点差

中高年齢者の職業訓練生を募集

県立中央専修職業訓練校では、訓練生を募集しております。

○職種と定員
自動車運転科（三十人）
身体障害者自動車教習（十人）

○訓練期間　三か月

○入校月　昭和五十五年一月

○応募資格
就職を望んでいる義務教育修了者で男女年齢に関係なく応募。

○応募手続
所定の入校願書に必要事項を記入のうえ管轄の公共職業安定所に提出（用紙は安定所にあります。）
身体障害者自動車運転教習については、最寄りの福祉事務所又は本校にお問い合わせください。

○特　典
受講者は手当を貰いながら技能を習得できます。
(1)受講料は無料です。
(2)受講期間中は訓練手当又は雇用保険が支給されます。
(3)ほかに通校手当又は寄宿手当も支給されます。

○受付期間
昭和五十四年十一月一日から十二月八日まで、詳しくは中央専修職業訓練校へ問い合わせください。
姶良町西餅田一、一二〇番
電話〇九九五六―五―二二四七

うぶ声

九月二十一日から十月二十日受付分

出生者	保護者	部落
矢野雄助	秋徳　蔵王団地	
有馬奈津季	範美　蔵王団地	
古川　剛	洋　今町	
山口ひとみ	貴博　西江口団地	
下田一正	正美	豊町
東　三央	秀記	春日団地
宮路真奈美	淳一	須崎
宮嶋ゆかり	忠弘	港町
今薗美幸	敬介	岩原東
神宮久美	六男	須崎
脇　和広	良広	永山
吉村真理子	孝	西諏訪
久保美鈴	興一	南塩入
吉岡良祐	正雄	岩原東
生見玲皇名	強	高井田
西　菜摘	泰行	楠原
坂元洋基	康二	東塩入
古寺大悟	広志	吉原
星原妙子	倶侑	蔵王団地
高木啓至	守司	高井田
古江真夕	健一	南塩入
永野美由紀	正人	豊町
吉元迭郎	富義	西江口団地
石野いくみ	輝昭	中福良後
草原尚子	弘己	西江口団地
日高弘義	義郎	於里
篠原裕一	博文	今町
安永加奈	節男	反土黒川
皆内啓志	照啓	下新道
岩元幸造	義治	江口団地
末吉　靖	義美	須崎
上村マリ子	安一	蔵王団地
酒匂　愛	久輝	蒲生田(2)
若浜　忍	勇	浜村
山口美和	秀則	須崎

健康

冬場の健康保持のきめ手はカゼをひかないようにすることだといいます。そのカゼをひかないために冷水摩擦をはじめてはどうでしょうか。まず、最初は乾布摩擦から始め、次に冷水摩擦、冷水浴、冷水泳と順に鍛えていくことがよいといわれています。

乾布摩擦は、はだ着をかえるとき、その布で三十秒くらい体をこすればりっぱな乾布摩擦です。三分間ずつやればなおよいのですが三分間というのはいがいに長く感じるものです。それよりも短くてもよいから毎日続けることの方が効果があります。こすり方は、手足の皮膚は、心臓の方へ向って、おなかは、おへソを中心にまるくこするのがよいということです。

冷水摩擦は、フロから出るとき、水でしぼったタオルでキュッキュッとこするのがコツ。冷水浴は、はじめから冷水を頭からかぶったりすればかえってカゼをひきかねません。ぬるま湯からしだいに冷水へときたえていきましょう。

香典返しを寄付

香典返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げますとともに故人のごめい福をお祈りいたします。（　）内は故人

＝町社会福祉協議会へ＝

三万円　西ノ原　高橋　亘（川添誠二85）
二万円　長谷　長谷　茂行（ミチエ51）
二万円　弥勒　横山　和男（ミツ83）
五万円　須崎　郡山　昭子（アサ83）
一万円　下浜　米良　紀子（川添ヨシ93）
二万円　下嶽　山口　吉次（キク80）
五万円　西諏訪　矢野　篤蔵（エイ95）
三万円　東諏訪　竹下　妙子（清秀63）
五万円　萩原　鷺山　守道（ツル89）
三万円　港町　片平カシ子（朝吉53）
一万円　里ノ下　吉村　勝子（秋義62）
一万円　西塩入下塩屋トシ子（俊郎26）

＝町国民年金協議会へ＝

五千円　下浜　米良　紀子（川添ヨシ93）
五千円　隼人町　丹生附忍婦（イネ94）
五千円　西塩入下蔵満　畩一（和子52）

＝町育英奨学資金へ＝

一万円　長谷　長谷　茂行（ミチエ51）
三万円　萩原　鷺山　守道（ツル89）

＝町老人クラブへ＝

一万円　須崎　郡山　昭子（アサ83）
一万円　長谷　長谷　茂行（ミチエ51）
三万円　西諏訪　矢野　篤蔵（エイ95）

一般寄付

＝町社会福祉協議会へ＝

一万円　竜門青年会
二万八千二百三十九円　加治木町青年団　ハッピー杉の子会　加治木ロータークラブ

▽…十月二十日までのご寄付を掲載いたしました。